

1. 評価結果概要表

作成日 平成 22 年 3 月 28 日

【評価実施概要】

事業所番号	0570614313
法人名	有限会社 うめの木園
事業所名	グループホーム うめの木園
所在地	秋田県男鹿市五里合箱井字町屋田4番地3 (電 話) 0185-22-9511
評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会
所在地	秋田県秋田市東通3丁目9-31
訪問調査日	平成22年3月28日

【情報提供票より】 (平成22年3月2日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年3月29日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	15 人, 非常勤 1人, 常勤換算 15.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	～ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	12,450 円	
敷 金	有 (円)	○無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) ○無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要 (3月2日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1		要介護2	5		
要介護3	5	要介護4	5		
要介護5	2	要支援2	1		
年齢	平均 81.9 歳	最低	65 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	男鹿みなと市民病院・香曾我部病院・わかみ歯科クリニック
---------	-----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

五里合地区より切望されて建てられた2ユニットのホームであり、開所時に職員で話し合い決められた「支えあう思いやりの気持ちを大切に、自分らしさや誇りを持った暮らしのある家でありたい」という理念のもと、利用者の人格を尊重し、個人個人との調和を大切に、ゆったりとした心、自由な心、支えあう心を持ち、温かな家庭の雰囲気地域に溶け込んだ生活が送れるように支援が行われています。ハの字の中央に事務室を設け、扉1枚を隔て各ユニットのホールがあり、カウンター越しにそれぞれのユニットの状況を観ることが出来、職員・利用者が自由に声を掛け合い、行き来が行われています。アクティビティに重点を置かれ、作品が掲示され、利用者が自らの思いや考えを主張できる環境が整えられ、リビングで笑い声が絶えない家庭的な雰囲気が訪問者に伝わり、和やかな雰囲気が感じられるホームです。

【重点項目への取組状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回、運営推進会議の開催回数が1回であり、今回も2回の実施でした。介護計画見直しでは、モニタリングの実施方法でしたが、今回は実施されずに計画書が立案されている状況でした。災害対策については、消防署員立ち合いの訓練の他に独自の訓練を実施される等、改善に向け、優れた取り組みが観られました。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 外部評価の結果については、職員にかかわる部分の話し合いが行われ、改善に向けた取り組みが行われています。また、自己評価は、各ユニット毎に話し合いの場を設けられ、聞き取りした内容を管理者がまとめられています。記載した自己評価表は、職員によって確認が行われた後、提示されています。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 今年度の開催は、市職員、包括支援センター、町内会長、老人会長、民生委員、訪問看護師、地区消防署員、法人代表者、利用者家族代表、管理者等の参加で2回実施されています。次第に添い、月例報告、利用者の状況、介護や医療に関すること、ヒヤリ・ハットや苦情について、スプリンクラーの設置や火災通報装置の設置等防災対策等々の他、地区との関わり等について報告と質疑応答によって、忌憚のない活発な意見交換が行われています。
	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 契約時の説明や掲示、意見箱の設置によって、苦情のあった場合の対応方法は確立されており、また、面会時や電話、便り等で意見や要望を引き出す働きかけが行われ、意見や苦情等があった場合には、記録が行われ、解決に向けた話し合いを持ち、結果が報告される等、改善に向けた取り組みが行われ、運営に反映されています。
重点項目	④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域からの要望によって建てられたホームであり、地域への認知度も高く、お祭りや敬老会等の地域行事への参加、子供お神輿、青年会のなまはげ、保育園児のお遊戯披露、学習の場としての訪問の受入れ、野菜のトラック販売、気軽な挨拶等々、地域に根差したホームづくりが行われています。

2. 評価報告書

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	支えあう思いやりの気持ちを大切にし、自分らしさや誇りを持った暮らしのある家であり、地域に溶け込んだ生活を目指した理念をつくりあげています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	開所時に職員と話し合い決められた理念であり、玄関やホール、事務所等の目につく場所に掲げ、理念の共有を図り、日々取り組まれています。また、今年度は、認知症リーダー研修にて、理念についての研修が行われたこともあり、再認識し、今後に向けた取り組みも検討中です。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	トラック販売による野菜の購入や地域行事（お祭り、敬老会等）への参加や子供会のお神輿や青年会のなまはげ等の行事がホームに立ち寄り、披露してくださる他、夏休み体験学習や、保育園児の遊戯の披露等々、地域の方々との交流が盛んに行われています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は、自己評価の意義を理解され、各ユニット毎に職員で話し合いの場を持ち、改善項目については、外部評価を活かし、具体的な改善に積極的に取り組まれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市職員、包括支援センター、町内会長、老人会長、民生委員、地区消防署長、訪問看護師、法人代表者、利用者、家族代表者等によって構成され、利用者状況、介護・医療について等、その時々話題に触れ、話し合いや意見交換が活発に行われ、サービスの向上に活かした取り組みをされています。	○	今年度は2回より開催できておりませんでしたので、運営推進会議の意義を理解され、概ね2か月に1回は、開催されることを期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	電話や直接出向いての相談、情報交換の機会を得る等され、サービスの質の向上に取り組まれています。また、男鹿潟上南秋地区グループホーム連絡会に市の職員を招いて座談会を開催する等、連携を深められています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時や電話による報告の他に、毎月の写真付き広報誌の下欄に担当者からコメントがつけられ、暮らしぶりや健康状態等の状況報告が行われています。また、出納帳のコピーを送付され、出納状況も明らかにされています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時の説明と苦情受付担当者の掲示、意見箱の設置、面会時や電話、便りでの状況報告時に意見や要望、苦情等が言い出しやすいように働きかけ、さりげない会話の中から引き出しが行われ、日誌や苦情処理委員会で周知がされ、解決策が報告され、運営に反映されています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	棟続きの為、職員・利用者の行き来があり、馴染みの関係づくりが常日頃より行われておられ、職員の異動に関しても大きな混乱もなくダメージも少なく済んでおります。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修については希望や段階に応じ積極的に参加できるように取り組まれ、研修後は復命研修が行われています。また、新任研修や外部講師を招いての研修、専門知識の習得等の内部研修が行われ、職員の育成に努められています。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>男鹿潟上南秋グループホーム連絡協議会にて、管理者・経営者・介護職員研修が行われ、積極的に参加され、交流を深めております。また、今年度は、双方の施設内職員交流が5施設間で行われる等、活動も盛んであり、サービスの質の向上につながる取り組みをされています。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用開始前に見学や体験をしていただき、入居後も本人の不安を和らげるために、家族の協力をいただきながら、馴染んでいただけるよう取り組まれています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>家族や介護支援専門員からの得た情報を元にこれまでの生き方を理解され、日々の生活を通して、ホームでできることを共働で見つけ出す支援をされ、共に学び、共感しながら、支えあう関係づくりが行われています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のコミュニケーションで本人から得た情報は、申し送りノートに記載され、全職員への周知が行われています。また、カンファレンスでも話合われています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の思いや意向、家族の要望等、日頃の関わりから得た情報をもとに、介護支援専門員が介護計画を立案し、職員で話し合い、意見が反映された介護計画が作成されています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の目標期間を6か月を基本とされ、中間の3か月目にモニタリングが行われ、新たな課題が見つかった場合、プランの見直しが行われています。	○	モニタリングによって、現状に即した介護計画の作成が必要であり、モニタリングなしで次の介護計画が立案されている状況が観られましたので、改善されることを期待します。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況、要望には都度、できるだけ早めに対応できるように勤務時間の変更によって柔軟な対応に努められ、墓参り等の外出支援や交通の便が悪いことから、駅やバス停まで家族の送迎も行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族等の希望によって、かかりつけ医への受診や協力医療機関への受診や往診、訪問看護等を選択していただき、必要時以外は職員による対応が行われております。また、緊急時の搬送先について予め、聞き取りが行われています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	協力医・訪問看護師との医療連携を確立され、重度化や終末期の対応について可能である旨を家族会を通して、説明をされています。職員へは、職員会議を通じて、方針を共有され周知しています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉の掛け方や対応によって、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることのないように、尊厳を持って接しております。また、記録物については、キャビネットに保管がされ個人情報の取り扱いにも配慮が観られます。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	天候や利用者の状況を観ながら、利用者一人ひとりのペースを尊重され、利用者の声にすぐに対応ができるように、希望に沿った支援が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたい物の希望を聞きながら、利用者と一緒に食材の調査に出かけたり、山菜や野菜の下ごしらえ、味付けの確認等、利用者も交えて調理が行われ、楽しみながらの食事が行われています。また、茶碗拭き等の後片付けも利用者が率先し、声を掛け合いながら行われています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は希望があれば、毎日でも可能ですが、最低でも週に3回は入っていただけるように支援されています。入りがらない利用者には、タイミングを考えた声掛けが行われ、入れない時には、清拭や陰部洗浄が行われています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴や残存機能・能力を活かし、調理の下ごしらえ、後片付け等の炊事や掃除、洗濯物干しやたたみ、作物の収穫、畑やプランターの水やり等々の役割や刺子や折り紙等の趣味の継続による気晴らしの支援等、できること・できそうなことを見つけ出し、張り合いや喜びのある生活を支援しています		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	敷地内は畑や草花の観賞等で自由に出入りが出来、敷地外は職員が付き添われ、散歩や山菜とり、地域行事への参加、買い物、お花見、ブルーメッセや水心苑、博物館等の施設見学、ハタハタ見学、ドライブ等々、希望に沿って日常的に外出支援が行われています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	鍵をかけることの弊害を理解されており、センサーによって外出を確認され、全く鍵はかけられておりません。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	日中・夜間を対象に総合訓練が年に2回消防署員立ち会いのもと、実施されています。またスプリンクラー、非常通報装置の設置の他、救急救命講習会も開催されています。その他、ホーム独自の取り組みとして、それぞれの職員が避難誘導できるように今年度は5回訓練が行われています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人には、栄養士や調理師の免許を持つ職員がおり、献立に工夫がされ、栄養バランスのとれた食事提供が行われ、摂取量、水分量の把握、不足時の代替食などによって、健康への配慮もみられます。また、食形態への研修会にも参加され、活かした支援が行われています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には、手作りの季節感あふれる装飾品や写真の掲示、家庭的でゆったりとくつろげるソファやテレビの配置、みんなが一緒に活動できる食堂テーブル、仲間同士でくつろげる談話室等が整備され、生活感や季節感を十分に取り入れ、居心地良く過ごせるように工夫がされています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者本人が身の回りで使用していたものや椅子、テレビ、仏具、位牌等が持ち込まれ、趣味のものや手作りの作品、写真等で装飾され、絨毯に畳等、意向に沿った生活スペースを作り出しています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。